

# 市議会だより No.63

令和3年11月15日



## 高校の活動紹介

### No.3 高川学園高等学校

科学部では、生命と環境をテーマに活動しています。文化庁の許可を受け、山口大学等の先生の指導のもと、特別天然記念物であるオオサンショウウオの行動や生態を研究しています。また、大平山に生息するヤマネや、江泊の海岸に生息するタワヤモリなど、希少種に関する現地調査や保護、保全に努めています。他に、オワンクラゲの遺伝子をパン酵母に組み込む実験を行うなど、理科や数学のセンスを磨いています。



第62回日本学生科学賞／環境大臣賞／科学技術政策担当大臣賞



東京フォーラム（プレゼンテーション）

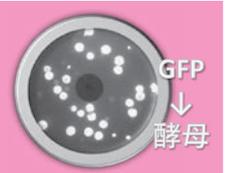


佐波川のオオサンショウウオ（特別天然記念物・絶滅危惧種）



保護が必要...大平山の貴重な野生動物

チュウゴクブチサンショウウオ（絶滅危惧種） 遺伝子の組み換え実験



GFP  
↓  
酵母

### 9月定例議会

- 議案の概要 ..... P 2～P 3
- 一般質問 ..... P 4～P 10
- 各決算特別委員会からの報告 ..... P 11

- 議会モニターからの意見 ..... P 3
- 議会懇談会 ..... P 11
- 12月定例議会の予定 ..... P 12



議会中継がスマートフォンで見られます! **防府市議会** 🔍



# 令和3年 9月 定例議会

9月定例議会は、9月2日から30日までの会期29日間の日程で開催されました。

市長から、「新型コロナウイルス感染症対策について」「セルビア共和国女子バレーボールチームの銅メダル獲得等について」「新庁舎の建設について」の行政報告があり、令和3年度一般会計補正予算、令和2年度一般会計・特別会計及び上下水道事業の各決算の認定など、議案8件、認定2件、推薦1件、選任3件、報告12件を審議しました。主な議案等と審議経過の概要についてお知らせします。

「賛否が分かれた議案に対する議員の態度」はP3をご覧ください。

## 予算

### ■令和3年度一般会計補正予算

3億800万円を増額し、補正後の予算総額を456億6,421万8千円とする予算案が提出され、賛成多数により可決されました。主な事業は次のとおりです。

(賛否No.1, 2)

#### ・新型コロナウイルス感染症検査事業

小・中学校の教職員や保育所・幼稚園の保育士等の希望者に対して緊急PCR検査を実施します。また、今後の低年齢層の感染状況を踏まえ、児童・生徒、教職員、保育士等に対する検査について、感染状況に応じて柔軟に行えるよう制度を拡充します。(1億円)

#### ・参議院議員補欠選挙

令和3年10月24日(投開票日)に実施するものです。(4,500万円)

#### ・事業者相談支援補助金

ルルサスに開設している中小・小規模事業者等総合相談窓口を令和3年12月末まで延長します。(300万円)

#### ・がんばる事業者応援補助金

長引くコロナ禍で、商品開発などに取り組む中小企業者等からの需要に十分対応できるよう増額します。(5,000万円)

#### ・中小企業DX推進補助金

新型コロナウイルス感染症の影響下で、DX(デジタルトランスフォーメーション)による業務の変革や販路開拓等への取組みに対して補助するものです。(3,000万円)

#### ・通学路等緊急交通安全対策事業

通学路等の緊急点検に基づき、小学校周辺の信号機のない横断歩道のカラー化をスクールゾーン全体に拡大し実施するとともに、不明瞭な横断歩道の復旧も併せて実施します。(3,000万円)

#### ・緊急河川改修事業

8月の大雨により被災した河川(馬刀川・後田川)の改良工事を実施します。(3,000万円)

#### ・災害対策事業

今後想定される台風等の災害に迅速に対応するためのものです。(2,000万円)

#### ・庁舎建設事業

庁舎棟、福祉棟建設工事及び工事監理業務について、令和6年度までの債務負担行為の限度額を設定しました。(限度額 104億円)

※庁舎建設事業において附帯決議が提出されましたが否決されました。(賛否No.2)

## 人事

### ■教育委員会教育長の選任

再任 江山 稔 さん(大字牟礼)

### ■教育委員会委員の選任

再任 田村 純子 さん(大字佐野)

### ■固定資産評価審査委員会委員の選任

再任 恵藤 豊 さん(岩畠三丁目)

### ■人権擁護委員候補者の推薦

再任 山脇 宏 さん(大字田島)



## 一般議案

## 報告

### ■財産の取得

中高層建築物に対する消防力の維持強化を図るために、はしご付消防自動車の購入契約について、可決されました。

### ■経営状況報告

市出資法人の防府地域振興株式会社から経営状況の報告がありました。

### ■中小企業振興施策の実施状況報告

中小企業振興基本条例の規定により、令和2年度の中小企業振興施策の実施状況の報告と工事・役務・物件契約における中小企業者の受注状況等の報告がありました。

## 決算

### ■令和2年度一般・特別会計決算

### ■令和2年度上下水道事業決算

いずれも賛成多数で認定されました。(賛否No.3, 4)  
(詳細はP11をご覧ください)

## — 賛否が分かれた議案に対する議員の態度 —

○賛成 ×反対

賛否No.	令和3年第4回定例会(9月)	会派・議員名																賛否の合計		議決結果								
		自由民主党								公明党		改革	絆	敬天会		無所属の会		市民クラブ	日本共産党		防府一番							
		青木	上田	牛見	宇多村	梅本	河杉	曾我	田中敏	橋本	藤村	安村	河村	高砂	村木	今津	和田	三原	山田		石田	吉村	久保	森重	田中健	清水	松村	賛成
1	令和3年度一般会計補正予算(第4号)	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	23	1	原案可決
2	令和3年度一般会計補正予算(第4号)の庁舎建設事業に関する附帯決議	×	—	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	8	16	否決
3	令和2年度決算の認定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	22	2	認定
4	令和2年度上下水道事業決算の認定	○	—	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	23	1	認定

※賛否が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない議案等は、全会一致で可決しました。  
※上田議員は議長のため、通常は採決に加わりません。

## 議会モニターからの意見

モニターから寄せられた意見などの一部を紹介します。

(内容は要約しています。詳しくは議会ホームページの議会モニターのページをご覧ください。)

通 信 内 容	市 議 会 回 答
議場の室温について、議場の傍聴席最前列右端付近で室温23.6℃、傍聴席3列目の中央付近では24.0℃でした。政府が指針としている28℃とはかけ離れています。空調機器の設定温度を見直し、無駄な空調費を低減すれば、市役所の経費削減にも寄与すると考えます。	議場の空調については、空間が広いことや、新型コロナウイルス感染対策のため扉を開放しており、場所によって温度差が生じております。空調管理を含む庁舎管理を行っております行政管理課と調整しながら、快適に傍聴していただけるよう努めてまいります。
4日間の一般質問を傍聴しましたが、同じ内容の質問がありました。一人にまとめて質問することはできませんか。	同一の質問事項であっても、それぞれの議員が異なる角度・視点により質問をしますので、一人の議員がまとめて質問することはできません。ただし、同じ会派の議員で同一の質問がある場合は、会派内で調整を行います。

# Q&A

# 一般質問



9月定例議会では、20名の議員が市政について質問しました。

ここでは議員本人が要約した質問と答弁の一部を発言順に掲載しています。詳細については、市議会ホームページで録画映像をご覧ください。また、12月に会議録を製本予定ですので、市役所1階閲覧コーナー、防府図書館、ホームページで見ることができます。



議会録画映像はこちら



会議録はこちら



## カーボンニュートラル、デジタル化の取組 小・中学校の新型コロナ対策

河村 孝 (公明党)

**問** 2050年カーボンニュートラルの取組は。

**市長** 新庁舎では、LED化や自然換気のほか、二酸化炭素の排出が少ない空調システムの導入を行う。デジタル化によるペーパーレスの推進や、次世代型自動車の導入、充電スポットの設置等も検討し、カーボンニュートラルを来年度予算編成の大きな柱の1つと位置づける。

**問** 行政手続きのオンライン化やデジタル地域拠点としての公民館の活用など、市民が利便性を実感できるDX（デジタルトランスフォーメーション）の取組は。

**市長** 行政手続きのオンライン化の基本はマイナンバ

ーカードの推進。申請率は、県内13市で唯一50%を超えた。県事業の活用で、公民館のデジタル化を進める。

**問** 市内企業へのデジタル化支援は。

**市長** 補正予算に中小企業DX推進事業を計上。デザインプラザを新たな創業支援拠点として整備し、高度な通信環境を導入することで、市内企業を支援する。

**問** 小・中学校の新型コロナ対策は。

**教育長** 夏休み延長や教職員のPCR検査を実施。修学旅行を県内にし、参加児童生徒へのPCR検査を行う。実験や調理実習の授業は行わず、運動会は無観客で行うなど、市内の感染状況を踏まえ、適切に対策を講じる。

また、臨時休校になったとしても、タブレット端末を使用した家庭からの課題提出やオンライン授業が確実に行えるように努める。



## 新しい総合計画「輝き！ほうふプラン」 駅周辺の賑わい創出の取組みは

河杉 憲二 (自由民主党)

**問** 第5次総合計画がスタートして5カ月経過した。現在までの進捗状況はどうか。また、今後どのように進めていくのか。

**市長** 総合計画は、10年後の防府市をイメージした上で、この5年間に重点的に取り組む施策をまとめたもの。現在、道路ネットワークの整備や防災広場の整備などを担当する道路防災基盤整備推進室を設置、行政のデジタル化やカーボンニュートラルの推進におけるワーキングチームの立ち上げ、駅北公有地の民間活力の導入など推進体制を整備している。

また、年度ごとの事業スケジュールを明確にしてお

り、所管部局と総合政策部が連携し、事業の進捗の点検、評価をしていく。

**問** 新庁舎建設に併せ、中心市街地の形成や駅周辺の賑わいの創出にも取り組むべきだがどうか。

**市長** ルルサスとアスピラートについては一体の施設、ひとつのエリアとし、文化福祉会館機能の移転や市民ギャラリーの設置、また市営駐車場やルルサス、イオン駐車場の料金の統一化、市道栄町藤本町線の整備など賑わい創出に向けて取り組んでいきたい。

**要望** 総合計画は、かなりのボリュームがある。事業実施に向けて、しっかりとした財政計画を立て、推進していただきたい。





### 市の文化財について！ ◆食育と子ども達への支援について！

山田 耕治(絆)

**問** 国は無形文化財と無形民俗文化財の登録に対する制度の一部改正をしたが、市の考えは？

**市長** 保護することを目的に改正された。各種保存会等が登録希望される場合は、積極的に支援したい。

**問** 市独自の登録制度や条例を設けることは？

**市長** 制度を創設する方向で検討する。

**問** 練習風景も含めての動画配信、また、今後の伝承も考慮し、データベースで保存する試みは？

**教育部長** 動画の配信は有意義。また、練習風景も入れたい。データベースの構築も含めて検討する。

### ◆食育と子ども達への支援について！

**問** 有機農業で作った野菜や米を給食に取り入れる「ゆうき給食の日」を設けては？

**教育部長** 地域を限定するなどの工夫を行い、有機農産物を取り入れた給食を提供できるように研究する。

**問** 給食に使用する塩は、岩塩等も含めたミネラル豊富な自然な天然塩を使用できないか？

**教育部長** 今後は、可能な限り天然塩を使用する。

**問** 子ども達の、心と身体が発育する第二発育急進期の大切な時期に、自分の手で作る『弁当の日』を、食育として促してみては？

**教育部長** 実践している学校もあるので、取り組みや効果を各学校へ紹介していく。



自分で作ったおにぎり

うので、総合支援窓口にご相談していただきたい。

**意見** やるつもりはないと判断させていただく。ぜひ広い気持ちで、困っている事業者へ光を当ててほしい。

**問** 菅内閣の下で設置された「成長戦略会議」により、誤った中小企業改革と地方銀行の再編が行われようとしている。中小企業の労働生産性が低いことを問題として、M&A等により中小企業の淘汰を図り、また、収益が落ち込んだ地方銀行の救済を名目に、銀行法を改正し、銀行の企業への投資規制や業務範囲が見直されるものである。これらの改革は外資による支配が危惧されるところであるが市長の考えを尋ねる。

**市長** 法改正にあたり、中小企業の淘汰や地方銀行の減少による地域経済への影響については、国会においてしっかりと議論されたと考えており、運用についても適正に監督されるものと考えている。



### 飲食店に物品を卸す事業者への支援 中小企業改革と地方銀行再編

今津 誠一(改革)

**問** これまで市はコロナ禍で経営が厳しい飲食店に対し複数回支援してきた。適切な支援だと思う。一方、飲食店へ物品を卸す事業者も大変厳しい経営を強いられている。6月補正で飲食店への支援金1億5千万円が予算化されたが、5千万円が未消化となった。これを支給してもらいたい。

**産業振興部長** 地域の経済状況を見極め、国・県・市の役割分担のもとしっかり対応していきたい。

**問** 明確な回答がない。今後の状況を見極め対応するとは、今はやるつもりはないということか。

**市長** 国や県の制度があり、様々な支援策があると思



### 田舎に住む高齢者の移動手段の確保について

石田 卓成(敬天会)

**問** 何度も取り上げてきた、バス停まで歩いて行けない、高齢者の皆さまの移動手段確保の問題について、これまでに解決できずに山積みになってきた様々な問題を解決されてきた池田市長だからこそ、何としてでも今の任期のうちに問題解決への道筋をつけていただきたい。

**市長** 地域により地理的条件や交通事情が異なるうえに、移動に不安を感じておられる方の生活実態も様々なので、課題解決に向けては、行政のみならず、実状を把握されている地域の皆さまが主体的に取り組んでいただく必要があると考えている。

こうした考えの下、地域の皆さまから課題解決に向

けた、住民が主体となった移動手段の取り組みもご提案いただけるように、まずは次年度に向け、これまで計画していたものの、協議の場が持っていない地域の皆さまとの話し合いを進めていき、誰もが住み慣れた地域で暮らし続けるための交通サービスの実現に向けて、行政と地域が一体となって取り組んでいきたい。

**要望** 確かに、地域の共同体意識が年々低下する中、住民がお互いに支え合い、行政が、その取り組みを支援することが一番理想的な形であると考えている。

今後は、送迎サービスを地域の皆さまが行おうとする際に、車両の用意や、昨年11月の市議選を通じて提案させていただいた地域への交付金制度の創設などが一番良い支援の形だと思うので、実現に向け、しっかりと頑張ってください。

**他** 地域農業の将来ビジョン、豪雨災害について



**少子化考 少子化対策の推進  
ふるさと出産できるまちの実現**

青木 明夫 (自由民主党)

**問** 防府市人口ビジョンで令和7年の5年後の年少人口(0～14歳)12.5%、14,000人を達成する施策についてお尋ねする。多子世帯の子育て支援策として、私案であるが、原資として市たばこ税又は、ふるさと納税を活用して、第3子以上の出生時にお祝い金として300万円程度の支援をしては如何か。

**市長** 総合計画の重点プロジェクト「未来を拓く子どもの育成」では、親が安心して子育てができ、子どもが安全に成長できる環境づくり、切れ目のない支援を掲げている。防府市独自の「ほうふっ子応援パッケージ」などの取組も進めている。また、国は来年度「こ



**お悔み手続きの簡素化について  
都市計画道路見直しについて・水泳授業について**

梅本 洋平 (自由民主党)

**問** お悔み手続きは複雑で担当部署も様々でありご年配の方、初めての方を悩ませている。総合窓口など一か所で手続きができるようにすべきと考えるがいかがか。

**市長** 庁舎建て替え工事の期間中、1号館4号館の往来でご不便をおかけする。可能な限り一か所で手続きが完了するようにしたい。お悔み手続きについては4号館に「手続きの総合相談窓口」を設置し、ワンストップで対応したいと考えている。

**問** 都市計画道路の半分は30年経過しても整備されていない。まちの変化に伴い見直しを行うべきではないか。また広く意見を聞く場が必要ではないか。



**市有三世代住宅用地の活用計画と今後のスケジュール  
市営住宅の中間見直し、居宅介護支援事業所と介護予防**

宇多村 史朗 (自由民主党)

**問** 市有三世代住宅用地について、活用計画と今後のスケジュールは。

**土木都市建設部長** 富海地区の活性化や人口減少防止に向け、用地の一部を富海保育所の送迎時の混雑解消のための駐車場として確保し、令和4年度の早い時期に売却できるようにする。

**問** 市の公営住宅の現状と空き住居の割合について、今後の需要をいかに見込んでいるか。

**市長** 1900戸ある市営住宅の入居割合は約7割にとどまり、空き家が目立つ状況。今後の見直しにおいては、安全安心な住宅提供と適量の住宅供給を基本方針とする。

ども庁」を創設することになっており、国や県と連携を図りながら、総合計画を着実に進めていく。

**問** 山口市、周南市の産科医に市内在住100人程度の妊婦の方がお世話になり、お産をされていると思うが、産科医不足に対してどのような取組をされているのか。

**健康福祉部長** 市内には、産科医療機関が5か所あり、うち分娩ができるのは2産科医療機関。いずれも分娩の制限はなく、現体制で十分対応できると聞いている。産科医療機関の安定した経営を促進するため、分娩件数に応じた手当を支給しており、ふるさと出産が安心してできるように県や医師会と連携して対応していく。



県立総合医療センター

**土木都市建設部長** 第5次総合計画において5年後10年後のまちの姿として整備を進める路線を示した。この中には新しい路線も加わっている。このような状況を踏まえ、都市計画道路について廃止変更を含め総合的に見直しを行っていきたい。また、見直しを進めるにあたり土地建物の調査・取引・建築する事業者など関係団体と新たな対話の場を設けていきたい。

**問** 水泳の授業は命を守る技法の習得である。コロナ禍でこの2年の間授業が実施できていないが、来年度以降の考えは。また全国的に外部委託が行われているが防府市も検討を始めてはいかがか。

**教育長** 来年度の水泳授業の実施に向けては、校長会や小・中学校とも協議をし、児童生徒の実態を把握した上で準備をしている。外部委託については研究中だが実態を把握している教職員指導の方が効果が高いと考えている。

**要望** 富海の市営住宅は、昭和48年に建設され、耐用年数を経過している。解体し、立て替え計画とされるよう今回の計画見直しの中で変更されたい。

**問** 介護保険の法令遵守について、どのような会議などの場で周知されているか。

**健康福祉部長** 年1回すべての事業所にお集まりいただき、法律改正などの説明をするとともに、ケアマネジメントの公正中立について確認している。

**問** 介護予防ケアマネジメントとして短期集中予防型サービスを実施されているが、実施状況は。

**健康福祉部長** 市では本事業を統合計画の重点プロジェクトに位置付け、令和3年1月から実施しており、7月末までの状況は、利用者数が79人で、22の方が元の生活を取り戻しておられる。今後、各地域包括支援センターと協力して、しっかりと取り組んでいく。



## 新型コロナウイルス感染症について

曾我 好則(自由民主党)

**問** 感染力の強いデルタ株の出現により、新たな局面を迎えているが、本市の現状と課題及び今後の対応を伺う。

**市長** コロナ対策の切り札であるワクチンを少しでも早く接種できるよう防府医師会、防府歯科医師会、防府薬剤師会と連携し接種体制の強化を図ってきた。

本市は、高齢者の接種と並行し、独自に介護従事者、消防団員、民生委員等への優先接種を行うとともに、4月のワクチン接種開始以来、毎日自ら接種会場に向き、運営方法等の改善を図ることにより、順調に進めることができたことから、全国1位の接種率である山口県において、本市は10ポイント程度、県の平均を

上回っている。

ワクチン接種により、感染を確実に防げるものではないが、万が一感染したとしても発症しなかったり、軽症であったりと、重症化するリスクを軽減させる効果が見込めるため、今後もワクチン接種を希望される皆様へのワクチン2回接種が早期に完了するよう進めていく。

今後も、国、県及び三師会としっかりと連携し、新型コロナウイルス感染症対策を行っていく。

**要望** 高血圧と肥満の2大疾患を抱える身として、大変心強い。厚労省の関係機関から、高齢者のワクチン接種による効果は7～8月の2か月で10万人以上の感染抑制と8千人以上の死亡者数が減少したと報告があった。抜本的な治療薬がない中、ワクチン接種を進めていただき、緊急事態に備え県や医療機関と連携し、いつでも万全の体制が図れるようお願いする。



## 牟礼公民館等の移転・建替について

田中 敏靖(自由民主党)

**問** 浸水想定区域内にある牟礼公民館の防災上安全な場所への移転・建替が総合計画に記載があり、令和3年度は調査期間とあるが建替の場所の検討のほか、どのような調査をされるか。移転先についてどこを想定されているか。また、牟礼交番についても移転の必要性があれば検討状況を伺う。

**市長** 地元の要望により安全・安心な場所へ移転すべきと考え、国等へ移転の支援策を要望した結果、移転の緊急性、必要性が高い事業で、令和7年度までの完了を要件に、特例として、市の実質負担が事業費の3割まで圧縮できる「緊急防災・減災事業債」が活用できること

となり、建替の検討を急いでいる。

建替場所については、第一に浸水想定区域より高台にあり、防災上の安全確保ができることを大前提とし、牟礼地域の中央に位置し、交通の便が良いこと、さらには一定の面積が早期に確保できることを条件として、県道環状一号線の牟礼柳交差点付近の消防署東出張所移転用地の南側に造成されている県有地が適地と考えている。地元の了解が得られれば用地の購入について県と具体的な協議に入る。移転後の新たな牟礼公民館は、県の事業である「シビックテック チャレンジYAMAGUCHI」を活用し、デジタル時代にふさわしい公民館としたい。また、現在、公民館の側にある牟礼交番については、地域の安全・安心や利便性の観点から、公民館の移転に併せて、新しい公民館の近くに移転していただけるよう県に要望したい。



## 犯罪被害者、コロナ禍における妊産婦、オストメイトの方々に対する支援を

高砂 朋子(公明党)

**問** 「市犯罪者等支援条例」は施行後8年経過、現在の社会情勢等を反映し、二次的被害防止の理解促進を図り、相談体制の充実、支援金の拡充等、配慮の行き届いた切れ目のない支援が必要では。条例見直しを要望したい。

**市長** 犯罪被害に遭われた方々に、少しでも穏やかな生活を取り戻していただくことは私達の願い。二次的被害の防止やさらなる支援が必要。ワンストップ相談窓口の設置を検討。社会情勢は刻々と変化しており、被害者等の置かれた状況も様々。今後、時代に合った条例へと見直しを行い、その中で、支援についても国、県、市の役割を踏まえた上で検討して行きたい。

**問** コロナ禍において妊産婦が抱えておられる困難や不安への丁寧な対応が重要。市の取組は。

**健康福祉部長** 「子育て応援室まんまるほうふ」で、助産師・保健師が寄り添った支援を実施している。地元食材をお届けする妊婦健康サポート事業や産後ケア事業等も実施。妊産婦が孤立しないよう今後も支援していく。

**問** 災害時におけるオストメイトへの支援の状況は。高齢化に伴う支援も必要では。

**健康福祉部長** 平成30年から7事業者と「災害時におけるストーマ器具等の供給に関する協定」を締結し、支援体制を整えている。適切な介護サービスを受け、安心して生活できるよう支援されている。市も対応していく。

### その他の質問項目

- ◆「生理の貧困」問題を通しての子どもや女性への支援
- ◆新市庁舎における「バリアフリートイレ」の設置



### 今後のセルビアホストタウン事業は？ 今後の企業誘致の取組みは？

松村 学（防府一番）

**問** 本市のセルビアホストタウン事業はニコラ・テスラ展やセルビア給食、女子バレーボール事前合宿などスポーツ・教育・文化交流と全国でもトップクラスの取組みがされ、全国のマスコミに取り上げられた。この遺産を今後どのように活用し、交流していくのか？

**市長** セルビアより多大な感謝の意を頂戴し、セルビアの銅メダルは防府市民への金メダルだと感じている。この交流事業により、多くの成果を得た。今後は3年後のパリオリンピックでパブリックビューイングなどにより市民と一緒に応援したい。10月にセルビア杯バレーボール大会を行い、同大会とセルビア給食は

今後も継続し、またセルビアコーナーを麒麟レモンスタジアム体育館に設置し、今までの成果をご覧ください。



パブリックビューイングの様子

**問** 働く所がなければ、防府に人は定住しない。企業誘致こそ人口増、防府市発展のカギである。本市の企業誘致は好調で、用地も不足してきている。さらなる企業誘導をどう進めるのか。

**市長** 江泊・西浦地区を含む市街化調整区域内6カ所を産業形成候補地にしている。また大和テクノタウン以外でも3、4カ所程度、企業誘導用地を確保した。情報を提供し、事業者に寄り添った相談対応を行い、助成制度も最大限生かしていく。



### 建設残土の処分は適正か 土砂条例の制定を

田中 健次（市民クラブ）

**問** 市が発注する建設工事において、建設残土については、どう対応してきたか、処分する場合は、どのような取り扱いか。

**土木都市建設部長** 発生した残土は、県が承諾した残土処理場で処分し、写真等で適切な処分を確認している。

**問** 弥富市（愛知県）は新市庁舎建設工事で発生した建設残土を「自由処分」で元請業者に処分を一任し、末端の問題のある下請業者が、土地所有者の制止にもかかわらず、残土の山を築き、市と元請業者が訴えられ、排出者責任を問う訴訟が提起されている。市の庁

舎建設にあたって、建設残土の取り扱いはどう考えているか。

**土木都市建設部長** 県が承諾した残土処理場で処分するよう発注する。

**問** 「土砂条例」を制定し、土砂の不適正な埋立てを規制すべきではないか。

**土木都市建設部長** 防府市で不適正な埋立てはなく、条例制定は考えていないが、熱海市の土石流災害を受け、国、県の盛土の調査が行われており、その動向を注視する。

#### その他の質問項目

- ◆庁舎建設について
- ◆太陽光発電の条例制定について



など、今後幅広く活用することを検討する。

**問** 障害の有無にかかわらず、誰もが一緒に遊べる「インクルーシブ公園」導入への考えは。

**土木都市建設部長** 県が導入に向け研究中であり、その情報とともに、障害者団体等の意見も伺いながら、どのように取り入れることができるのか検討する。

**問** 桑山公園のスケートスペース770は完成から20年が経過。今後の整備への考えは。

**土木都市建設部長** 点検と計画的な修繕を進めているが、ケガなどにつながらないように必要な修繕を行っていく。

**問** 高齢者向けの大活字本の充実や電子書籍の導入について

**教育部長** 大活字本は計画的に増やしていく。電子書籍も、導入に向け具体的に検討する。



### 逃げ遅れによる犠牲者「ゼロ」の防災 公園の整備・読書のバリアフリー

村木 正弘（公明党）

**問** 8月の大雨で、市内の72時間雨量は過去最高となった。避難指示も発令された。早期避難対策、情報伝達、防災意識の向上に、力を入れるべきでは。

**市長** 市民の皆様には、まず、「助かりたい、共に助け合いたい」という気持ちを持ってもらうことが大事。この度は、市役所内は概ねうまくいったものの、課題もあったので、検証し改善していく。

**問** 地域の気象情報に詳しい、気象台のOB・OGを起用した「気象防災アドバイザー」を活用してはどうか。

**市長** 本市では、効率的な気象の監視等を行っている。「気象防災アドバイザー」については、研修会の講師



**敬老会・広報・タブレット講座の  
今後について**

吉村 祐太郎(敬天会)

**問** 平均寿命の延伸・少子高齢化により敬老会の開催が負担になる地域もあるが、補助対象年齢を見直してはどうか。

**健康福祉部長** 現在のところ見直す予定はない。コロナが収束した後も75歳以上を対象に開催していただきたいと考えている。

**問** 市広報・回覧は現在紙媒体だが、今後デジタル媒体に移行させる予定はあるか。また、デジタル媒体による配布に対応できる市民の割合を把握しているのか。

**総合政策部長** 関心の有無に関わらず万遍なくお知らせ

せる必要があるため、デジタル媒体での配布予定はないが、現在、スマートフォンアプリ『マチイロ』での掲載を行っている。

デジタル媒体に対応できる市民の割合に関しては、平成30年の広報全般のアンケート調査を実施したが、設問を設けておらずデータを持っていない。

**問** 公民館におけるスマートフォン・タブレット講座の回数を今後増やすことは可能か。

**市長** 今後デジタル化が進む際に誰一人として取り残されないよう、今後、開催回数や場所を拡充し、全公民館において開催できるよう取り組んでいく。



**防府の日本酒、鋳物、蛸壺、刀剣などの歴史的な  
文化財産をお金に変える！その準備や整備を！**

牛見 航(自由民主党)

**問** 防府の伝統的な特色のある産業についてどのように考えているか？

**市長** 防府の個性を形づくり、本市の魅力に寄与していることから、次代に引き継いでいけるようにしっかりと応援してまいります。

**要望** 課題は後継者問題や売上の確保だけではなく老朽化した希少性が高まり高額になった専門用具の確保や施設。このような部分に対しふるさと納税の特定寄付などを利用した支援をお願いしたい。

**問** これらの産業を活用した観光事業については？

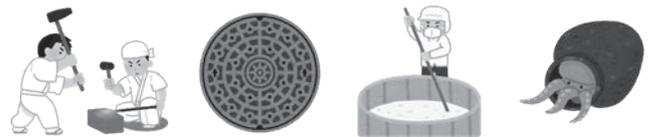
**市長** 市民や観光客にしっかりと周知する。体験プロ

グラムなどの実施、観光客へのお土産の売り込みなど積極的に取り組んでいく。

**問** 世界では人口増加、経済成長が進む中、日本は人口減少社会の中、内需が減少し不況に陥っている。税収増加には防府の歴史的な文化、財産をお金に変え、外貨を稼ぐ必要があると考えるがその課題は？

**産業振興部長** これから勉強していきたい。

**要望** 海外都市との関係構築と英語などの言語対応が重要、姉妹都市アメリカモンロー市やホストタウンのセルビアなど友好都市とそのような可能性を踏まえて友好関係を深めていただきたい。



**子どもたちの安全・安心のために取り組む  
危険!!学校周辺など通学路の防犯灯未設置**

三原 昭治(絆)

**問** 民家の少ない学校周辺など通学路における防犯灯の未設置箇所は、大変危険であることから自治会ではなく、市が設置、管理すべきではないか。

**市長** 学校周辺の通学路や自治会の境界付近などの防犯灯設置が進んでいない箇所がある。市では、実態調査と制度の検討を行っている。子どもたちの安全、安心の観点から地域の実態に沿った防犯灯の設置が進むよう取り組んでいく。

**問** どのような実態調査を行なっているのか。

**地域交流部長** 地図上で確認し、現地確認作業を行っている。

**問** 犯罪、災害は、いつ発生するか分からない。早急な対応が必要では。

**市長** スピード感をもって実態調査などを行い、子どもたちの安全、安心のため対応する。

**問** 台風シーズンを迎え、感染力の強いデルタ株が急拡大している中での避難所体制は。

**総務部長** 避難者1人当たりのスペースを十分確保し、多くの避難所を開設することになっている。また、避難所の職員を増員し、発熱者の専用スペースの設営など体制を取っている。

**問** 市民や子どもたちの防災意識、認識を身近に受け止めてもらうために、災害経験者による語り部制度を設けては。

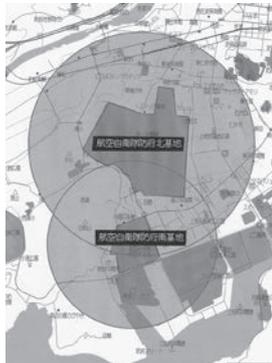
**市長** 経験者の声を聞くことは、防災教育になることから、検討したい。



**高齢者医療費窓口負担2割化  
受診控え、重症化の危険**

清水 ちかし (日本共産党)

**問** 自衛隊や原発などの重要施設周辺の土地の利用を規制する「土地利用規制法」が成立した。この法律では重要施設の周辺1kmを注視区域に指定しているが、航空自衛隊防府北基地および南基地が重要施設と指定された場合、調査対象となる人数は。



**総務部長** 国の動向を注視する。

**意見** 華城・中関地区のほぼ全域と西浦・華浦・新田

地区の一部が対象になると考えられる。

**問** 来年度から一定所得のある高齢者について医療費窓口負担が2割となるが、負担増のための受診控えによる重症化が懸念される。重症化防止の取組みは。

**健康福祉部長** 健康診査の受診率が低い。まずはこの受診率を高めるよう努めたい。

**問** 国保料の均等割が未就学児まで5割軽減となるが、市独自で対象者を18歳まで拡大できないか。

**生活環境部長** 国は一律に保険料の減免を行うことは適切ではないとしており、市独自の減額は難しい。

**問** 新型コロナウイルス感染症対策として、新学期前に小・中学校の教職員や保育士を対象にPCR検査を実施したが、希望する全児童生徒にもPCR検査を。

**教育部長** 今後も必要に応じて、柔軟にPCR検査を実施して、児童生徒の学校生活をサポートしたい。



**これからの防府競輪について  
市営住宅の改修について**

藤村 こそえ (自由民主党)

**問** 防府競輪場は開設から70以上にわたり、地域経済の活性化に寄与してきた。しかしながら、来場者は年々減少し、建物の老朽化も著しい。競輪場は防府天満宮の北側に位置し、立地条件も良く、魅力ある施設に改修すれば新たな顧客の獲得、賑わいの創出、さらなる市財政への貢献が期待できると考えるが、いかがか。

**市長** 天満宮や国分寺などと調和した防府らしい魅力あふれる競輪場に生まれ変わらせ、まちづくりの一翼を担える施設にしていきたい。メインスタンドはユニバーサルデザインを導入し、親子連れで楽しめる遊具の配置等、新たな交流の場を創出。整備後は多彩なイ

ベントの開催やビッグレースの誘致にも取り組みたい。

**問** 本市の市営住宅は建築後40年、50年経過したものがほとんどであり、外壁改修等、構造体の改修を進めても内装や室内の設備は当初のままである。現在の生活様式とかけ離れており、生活の「質」の向上へはつながらない。現在の生活様式に見合う内装や設備の改修を計画的に進めていくべきではないか。



**土木都市建設部長** 生活様式や時代の変化に伴うニーズに対応していく必要がある。室内設備の標準的なものを検討し、順次整備を進める。



**広域防災広場の整備について**

橋本 龍太郎 (自由民主党)

**問** 第5次防府市総合計画では災害時や救急医療における市民の安全安心を確保するために、各輸送拠点と防災拠点や医療機関をつなぐ幹線道路ネットワークの構築を進めるとされている。そのなかでも県立総合医療センターと連携できる佐波川右岸エリアの広域防災広場の整備は急務と考えるが、防府市として今後どのように進めていくのか。

**市長** 小野地域から大道地域にかけての佐波川右岸に防災拠点がなく、頻発化する大規模災害に備えるために整備することとしている。広域的なアクセス性を高めるために国道2号からの新たな道路が必要であると

考え、昨年10月、県道として整備していただけるよう県に要望を行った。6月の県議会において、防災拠点や医療拠点等へのアクセス道路の整備の質問に対し、県知事から、県西部方面から広域防災広場や県立総合医療センターへのアクセス性が向上し、市域を超える災害への対応力や医療提供体制の強化につながるとして、広域防災広場の整備を行う防府市と調整をとりながら事業着手に向けて取り組むとの答弁があった。これを受けて市では、7月に全庁を挙げたプロジェクトチームを立ち上げ、防災広場の具体的な位置と県道のルートの調整や都市計画法上の手続きなどの諸課題の解決に向けて協議を進めており、来年度には設計と用地取得に入り、令和7年の完成を目指している。

**要望** 市民の安全安心のために、スピードを緩めることなく実行していただきたい。

## 一般・特別会計決算特別委員会の報告

審査における質疑等の主なものは、次のとおりです。

### 一般会計

**問** 実質単年度収支が7年ぶりに黒字となったが、決算状況をどのように分析、評価しているのか。

**答** 国・県の補助金を活用するなど、財政の健全化に取り組んできた。引き続き、積極的に地方財政対策の活用などに心がけ、毎年度の決算時には、財政調整基金残高が20億円以上確保できるよう努めたい。

**問** 産婦健康診査事業の成果は。

**答** 受診率が高く、医療機関等との連携により、産後うつ予防、早期発見につながっている。

**問** ふるさと寄附金の件数が前年度と比較し増加しているが、金額が減少しているのはなぜか。

## 上下水道事業決算特別委員会の報告

近年、給水人口は減少傾向で推移しており、経営環境が厳しくなる中、上下水道局では効率的な事業運営のため、水道メーターの検針や窓口業務・料金収納業務等を委託している。

「上水道事業」水道給水戸数は4万9,354戸で、令和元年度と比べ74戸減少しており、水道使用料の対象となる年間総有収水量は1,198万4,310㎡で、令和元年度と比べ10万9,620㎡減少している。決算では3億7,784万円の黒字だが、純利益は令和元年度と比べ2,406万円の減額となっている。

「工業用水道事業」は、3,448万円の黒字となっている。地神堂水源地内の施設整備を行った。

「公共下水道事業」は、処理区域内人口7万8,926人

## 議会懇談会を開催

教育民生委員会（8月28日）

防府市聴覚障害者福祉会からの申込みにより、防府市手話言語条例の制定について、議会懇談会を開催しました。

**趣旨説明** 防府市聴覚障害者福祉会は、ろうあ者にとって手話は命であることを市民の皆様に理解していただきたく、手話言語条例の制定を求める要望をしてきた。今年度、市では手話言語等に関する条例検討委員会が開催されているが、その内容は手話言語条例ではなく、情報・コミュニケーション条例制定に向けた内容となっている。「手話は言語である」ことへの理解と普及のため、手話言語条例の単独制定を強く望むものである。

**答** 令和元年度に大口の寄附があったことが影響している。

### 駐車場事業特別会計

**問** 今後の市営駐車場の在り方をどう考えているか。

**答** 市営中央町駐車場を含めた駅周辺の駐車場について、利用料金の一本化に向け調整しているが、各施設で発行する割引サービス券の相互利用など、市営としては対応が難しい課題もあり、特別事業会計のあり方も含め検討を急ぎたい。

一般会計では、マイナンバーカードの普及を促進する経費の予算化等を理由に反対した当初予算がそのまま執行され、また、国保、介護、後期高齢事業の特別会計では、これまで指摘してきた問題点が改善されないうまま執行されていることから、承認に反対との意見があったが、賛成多数で承認した。

で、126人増加した。普及率は68.7%で令和元年度に比べ0.5%増加しており、1億8,378万円の黒字となっている。

### 【主な質疑】

**問** 令和2年度末における水源地、配水池の耐震化率はどのくらいか。

**答** 水源地57.4%、配水池82.5%である。

**問** 監査委員の決算審査意見書によると、健全な経営ができていますが企業債の残高が多く、これを減少させることが課題となっているが、起債に対しての方針はどのように考えているか。

**答** 毎年の借入額について、償還額を超えない範囲とし、年々、企業債の残高を減少させている。今後も借入額を償還額以内に抑え、企業債残高の減少に努める。

**問** 手話言語と情報・コミュニケーションを一つの条例にまとめて制定した場合、どのようなことが考えられるか。

**答** この二つを一つにした条例を制定した場合、手話をコミュニケーションの手段として捉えられ、手話言語に関する理解が進まない。

**問** 個別に条例を制定する場合、どちらを先に制定するべきと考えるか。

**答** 順番にこだわりはないが、個別に制定していただくことを強く要望する。

懇談会后、委員で協議した結果、条例制定の進め方や考えを執行部に聞いたうえで、今後の対応を検討することに決定しました。

※9月議会の教育民生委員会において、執行部に対して手話言語条例の制定について質問が行われました。

# 議会日誌

## 8月

- 17日 議会改革推進協議会
- 27日 勉強会
- 28日 議会懇談会（教育民生）
- 30日 議会運営委員会

## 9月

- 2日 9月定例議会開会  
議会広報編集委員会
- 6日 上下水道事業決算特別委員会
- 8日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）
- 10日 本会議（一般質問）
- 13日 本会議（一般質問）  
議会運営委員会  
議会改革推進協議会
- 15日 予算委員会（全体会）
- 17日 常任委員会（総務、教育民生、産業建設）
- 21日 一般・特別会計決算特別委員会（総務）
- 22日 一般・特別会計決算特別委員会（教育民生）
- 24日 一般・特別会計決算特別委員会（産業建設）
- 30日 9月定例議会閉会  
議会改革推進協議会  
議会広報編集委員会

## 10月

- 12日 議会広報編集委員会
- 20日 議会広報編集委員会



## 12月定例議会の予定

- 11月30日（火） 本会議（開会）
- 12月3日（金） 本会議（一般質問）
- 6日（月） 本会議（一般質問）
- 7日（火） 本会議（一般質問）
- 8日（水） 本会議（一般質問）
- 10日（金） 予算委員会（全体会）
- 13日（月） 常任委員会・予算分科会（総務）
- 14日（火） 常任委員会・予算分科会（教育民生）
- 15日（水） 常任委員会・予算分科会（産業建設）
- 17日（金） 予算委員会（全体会・採決）
- 22日（水） 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。  
 なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。  
 詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL (0835) 25-2182

### 市議会だより音声版のご案内

市では、視覚に障害がある方や、印刷された文字等を読むことが困難な方にも議会の情報をお届けするため、市議会だよりの内容を音声で収録した音声版CDを作成しています。無料で提供または貸出をしますので、ご希望の方は障害福祉課までお問い合わせください。



障害福祉課（1号館1階・TEL(0835)25-2387）

### 編集後記

今回の表紙、『高校の活動紹介シリーズ』は、高川学園高校の科学部の活動をご紹介します。30年以上にわたり、地道な研究活動をされ、各賞も受賞されています。これからも、コロナ禍の中、頑張る市内の各高校の生徒さんを、応援してまいりたいと思います。

さて、現メンバーでの議会だよりの編集も、今号が最後となります。たくさんの励ましやご提言等をお寄せいただき、広報編集委員一同、感謝しております。1年間、ありがとうございました。

議会広報編集委員会（◎委員長、○副委員長）

◎ 河村 孝 ○牛見 航 梅本洋平 田中健次 田中敏靖 山田耕治 森重 豊

